中堅企業向け人事・総務部門トータルシステム “セキュアALIVE Solution”

庭山正志*
森口隆史*
大石浩之*

要　旨

中堅企業におけるIT化は，販売・仕入れ・在庫管理・経理・財務系システムを中心として各社ともほぼ導入・対応が完了しており，“利活用”の段階に入っている。

一方，人事・総務系のシステムは，給与計算などのシステム化は済んでいるものの，人事・総務部門と社員の間で行われる間接業務が非定型かつ各社の制度や考え方が異なるため，システム化しにくいファジーな部分としてIT化は困難とされてきていた。景気低迷で売上げが伸びにくいという時代の潮流もあり，経営者は，今，人事・総務部門の改革に着目し，効率アップ・経費節約を期待している。

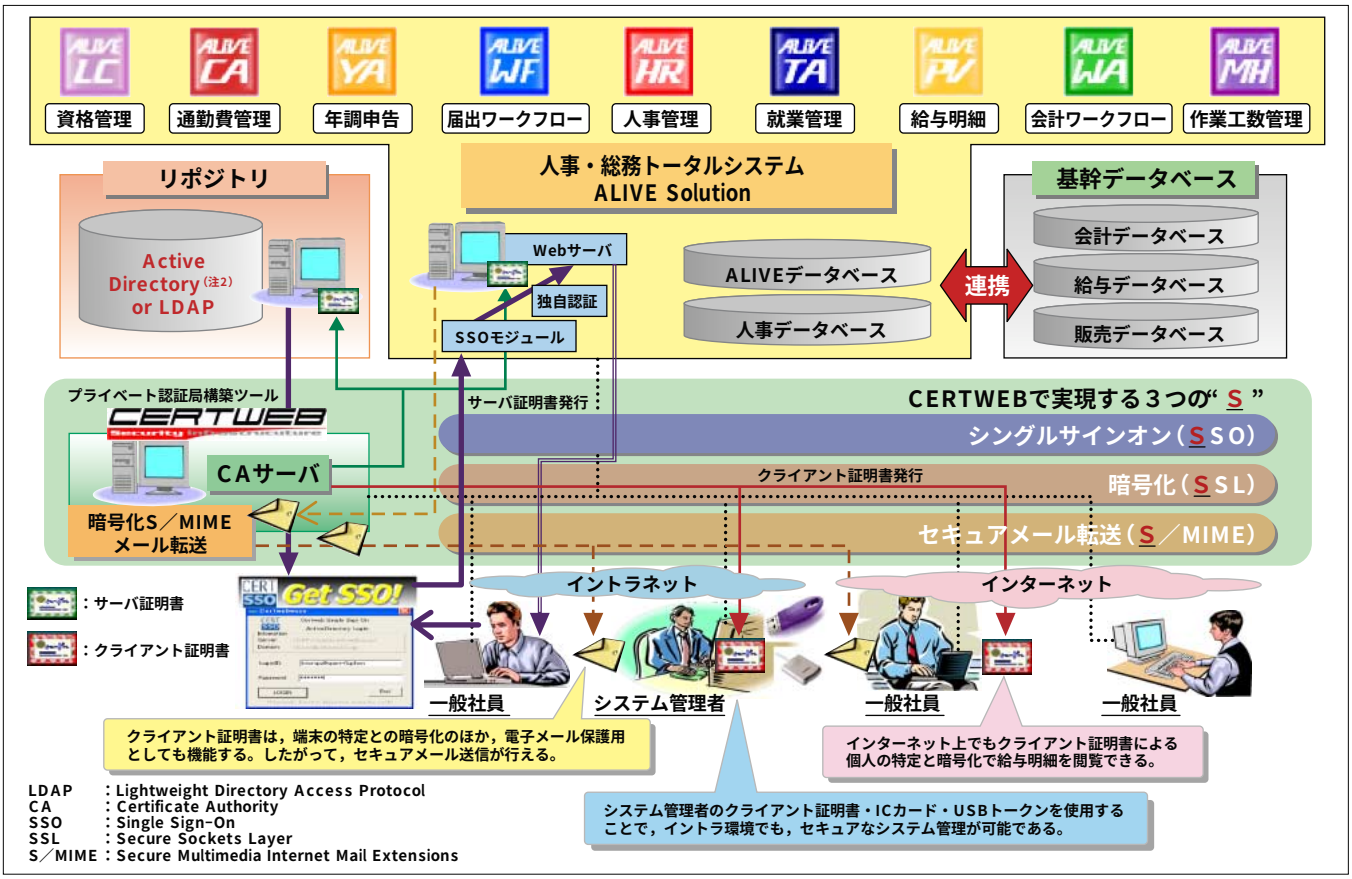
㈱三菱電機ビジネスシステム（MB）は，人事・総務部門の日常業務のIT化と社員に対する徹底した間接業務の効率化を目標とし，2003年６月，人事システムを中心とした９つの業務システムからなる人事・総務トータルシステム“ALIVE Solution(注1)”の販売を開始した。

人事・総務部門が取り扱うデータは給与や家族情報などプライバシー保護に関する配慮が必要となるが，一般企業にとって“セキュリティ基盤構築”は非常に難解・高価であるため，導入には多大な企業努力を必要とする。

MBでは，人事・総務部門トータルシステムALIVE Solutionに，MB独自のプライベート認証局構築ツール“CERTWEB(注1)”を組み合わせたセキュアALIVE Solutionを実現しており，中堅企業のお客様に“便利”で“安心”なシステムを“安価”に提供している。

（注１）　ALIVE Solution及びCERTWEBは，㈱三菱電機ビジネスシステムの登録商標である。

（注２）　Active Directoryは，米国及びその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標である。



セキュア ALIVE Solutionの概念図

基幹データベース群と連携した９業務からなる人事・総務トータルシステムALIVE SolutionにMBが提供するプライベート認証局構築ツールCERTWEBを組み合わせることにより，社内システムのセキュリティとして必要な３つの“S”(シングルサインオン・SSL暗号化通信・セキュアメール転送)を実現している。

*㈱三菱電機ビジネスシステム